



設置場所計画とメンテナンスに関する記録

この付録では、Cisco UCS サーバ シャーシの設置時に使用する次の記録を示します。

- 「設置場所準備チェックリスト」(P.B-1)
- 「連絡先および設置場所情報」(P.B-3)
- 「シャーシおよびモジュール情報」(P.B-4)



(注)

シャーシの設定情報を確認する方法については、『Cisco UCS Configuration Guide』を参照してください。

設置場所準備チェックリスト

ネットワークを正常に運用し、通気およびアクセス性を確保するには、装置ラックや配線クローゼットの位置とレイアウトを事前に計画することが重要です。表 B-1 に、Cisco UCS サーバ シャーシの設置前に完了しておくことが推奨される設置場所の計画作業を示します。

設置に関する空調要件の規模を見積もる際は、放熱を考慮に入れます。環境要件については表 A-3 (P.A-2) を、電力および熱定格については「電力仕様」(P.A-2) を、それぞれ参照してください。

表 B-1 設置場所計画チェックリスト

作業番号	計画作業	確認者	時間	日付
1	スペースの評価： <ul style="list-style-type: none"> • スペースとレイアウト • 床の覆い • 衝撃と振動 • 照明 • メンテナンスのアクセス性 			
2	環境の評価： <ul style="list-style-type: none"> • 周囲温度 • 湿度 • 高度 • 大気汚染 • 空気の流れ 			
3	電力の評価： <ul style="list-style-type: none"> • 入力電力タイプ • コンセント¹ • 機器とコンセントの距離 • 電源装置用の専用回路 • 冗長電源装置用の（独立した）専用回路 • 停電用の UPS² 			
4	接地の評価： <ul style="list-style-type: none"> • 回路ブレーカーの容量 • 共同接地（AC 電源式システム） 			
5	ケーブルおよびインターフェイス機器の評価： <ul style="list-style-type: none"> • ケーブル タイプ • コネクタ タイプ • ケーブルの距離制限 • インターフェイス機器（トランシーバ） 			
6	EMI ³ の評価： <ul style="list-style-type: none"> • 信号方式の距離制限 • 設置場所の配線 • RFI⁴ レベル 			

1. シャーシに取り付けた電源装置用に専用の AC 電源回路があることを確認する。

2. UPS : uninterruptible power supply（無停電電源装置）

3. EMI : electromagnetic interference（電磁波干渉）

4. RFI : radio frequency interference (無線周波数干渉)

連絡先および設置場所情報

次のワークシート (表 B-2) を使用して、連絡先および設置場所情報を記録します。

表 B-2 連絡先および設置場所情報

連絡先担当者	
電話番号	
電子メール	
建物 / 設置場所の名称	
データ センターの場所	
階数	
住所 (1 行目)	
住所 (2 行目)	
市町村	
都道府県	
郵便番号	
国	

シャーシおよびモジュール情報

次のワークシート（および表 B-3）を使用して、サーバ シャーシとシャーシに収容するモジュールに関する情報を記録します。

契約番号 _____

シャーシ シリアル番号 _____

製品番号 _____

表 B-3 ブレード サーバ情報

モジュールおよびシリアル番号	モジュール シリアル番号	注
ブレード サーバ 1		
ブレード サーバ 2		
ブレード サーバ 3		
ブレード サーバ 4		
ブレード サーバ 5		
ブレード サーバ 6		
ブレード サーバ 7		
ブレード サーバ 8		



(注) サーバ シャーシに収容されたすべてのモジュールのシリアル番号は、Cisco UCS Manager グラフィカル ユーザ インターフェイス管理プログラムを使用して確認できます。